

## 第3学年4組 外国語科（英語）学習指導案

日 時：平成22年11月10日（水）

場 所：英語教室

授業者：東出雲町立東出雲中学校 教諭 實重 詔子  
ALT Tricia Kubrin

### 1 単元名 Unit4 An American Rakugo-ka ～ New Horizon English Course Book3 ～

### 2 単元の目標

日本の文化や生活習慣について考え、さまざまな工夫をしながら英語を用いて説明する。

### 3 学習の基盤（生徒観は省略）

本単元は、若葉市に住む日本人中学生の慎が、慎の家にホームステイすることになったカナダ人のエレンと、英語落語を聞きに行く場面を扱っている。英語落語は、日本と合衆国における飲食店での注文の仕方の違いや、英語と日本語の意味を一対一で対応させることの問題点を意識させる内容となっており、日本と合衆国の文化や生活習慣の違いに目を向けさせ、国際理解の重要性を意識させる良い機会となると考える。また、伝えたいことを表現する手段として、ジェスチャーを用いたり、知っている簡単な語で言い換えたり、図や絵を描いて伝えるなど、コミュニケーションのテクニックについてもふれることのできる教材である。文法事項としては、Starting Out では名詞句として動詞の目的語となる場合の「疑問詞＋不定詞」、Dialog では「It is ＋形容詞＋ for ... to -」が取り上げられている。生徒にとっては語順の定着が難しい形であるが、既習の疑問詞、不定詞、動名詞を発展させた、身近なことを自己表現するのに適した形であり、これらを使用できることでいっそう表現の幅が広がると考える。

「話すこと」については、いろいろな物について制限時間内に英語で説明する活動を授業のはじめに継続的に行い、さまざまな表現を用いて英語で即座に説明することに慣れさせたい。その際、有用な文型をリストとして示し、活動の抵抗感をなくすとともに、評価規準と評価記録欄を示すことで自らの話す力を客観的に捉え、努力の跡が明確になるようにする。「書くこと」については、これまで継続的に指導してきた辞書と副教材の用い方について、より丁寧にガイダンスを行うとともに用いる頻度を高め、ペアで語順を確認しながら英作文が行えるようにする。本単元の指導の流れは、ALT との会話から自然な形で「疑問詞＋不定詞」の口頭導入を行い、ALT への「疑問詞＋不定詞」を用いたインタビュー活動につなげ、単元末に行う日本の生活習慣や文化の説明の情報収集を行う。グループで ALT に日本の生活習慣や文化を説明する活動を行わせ、説明の中で新出事項を必然性のある形で運用させるとともに、聞かれたことに対して適切に応答したり、知っている表現やジェスチャー、絵や図などを駆使して自分の伝えたいことを正確に表現するなど、既習の会話スキルを活用し向上させることを目指す。

### 4 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 表現の能力	ウ. 理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れず、日本の生活習慣や文化について積極的に説明している (話すこと) [言語活動への取組]	① 話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる (話すこと) [正確な発話] ② 場面や心情に応じた暗唱や音読ができる (読むこと) [適切な音読] ③ 日本の生活習慣についての説明を、文のつながりや構成を考えて書くことができる (書くこと) [適切な筆記]	① 本文を読んで、その要点を読み取ることができる (読むこと) [適切な読取]	① 「疑問詞＋不定詞」の文の形・意味・用法を理解している (聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと) [言語についての知識] ② 「It is ＋形容詞＋ for ... to-」の文の形・意味・用法を理解している (聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと) [言語についての知識]

5 単元の指導計画及び評価計画（全10時間）

時間	主な学習活動	評価規準	予想される生徒の具体的な姿と支援	評価資料
1	<p>(1)新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>(2)ペアで Definition を行う。</p> <p>(3)絵を見ながら英文を聞き、ターゲットである「疑問詞＋不定詞」の形・意味を確認し、用法を理解する。</p> <p>(4)本文(p40)の内容を聞き、質問に答える。</p> <p>(5)「疑問詞＋不定詞」の形を用いたインタビュー活動を行う。</p>	<p>イ①</p> <p>ア①</p>	<p>A：表現集を見ないで3文以上で説明することができる。</p> <p>B：表現集や教科書を見て3文程度で説明することができる。</p> <p>C（支援）：生徒の伝えたいことを日本語で確認し、有用な文型を示す。</p> <p>A：ALTに英語で日本のことについて知っているかどうか確かめている。</p> <p>C（支援）：具体的な質問例を示し、疑問文を組み立てることができるよう支援する。</p>	<p>評価シート（生徒自己評価）</p> <p>観察</p>
2	<p>(1)新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>(2)ペアで Definition を行う。</p> <p>(3)前時のインタビュー活動の結果を発表する。</p> <p>(4)(3)の結果についての教師のコメントを聞きながら、「It is＋形容詞＋for ... to-」の形・意味・用法を理解する。</p> <p>(5)本文(p41)の内容を聞き、質問に答える。</p> <p>(6)本文を音読する。</p>	<p>イ①</p>	<p>A：表現集を見ないで3文以上で説明することができる。</p> <p>B：表現集や教科書を見て3文程度で説明することができる。</p> <p>C（支援）：生徒の伝えたいことを日本語で確認し、有用な文型を示す。</p>	<p>評価シート（生徒自己評価）</p>
3	<p>(1)新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>(2)ペアで Definition を行う。</p> <p>(3)本文(p41)の状況と内容を確認しながら p40-p41 の暗唱練習をする。</p> <p>(4)スキットテストを受ける。</p>	<p>イ①</p> <p>イ②</p>	<p>A：表現集を見ないで3文以上で説明することができる。</p> <p>B：表現集や教科書を見て3文程度で説明することができる。</p> <p>C（支援）：生徒の伝えたいことを日本語で確認し、有用な文型を示す。</p> <p>A：場面や心情が十分伝わるように暗唱ができる。</p> <p>B：対話を正しく暗唱できる。</p> <p>C（支援）：模範となる音読を示し、くり返し練習を支援する。</p>	<p>評価シート（生徒自己評価）</p> <p>スキットテスト</p>

4	<p>(1)スキットテストを受ける。</p> <p>(2)スキットシート裏面のワークシートを用いて p40-p41 の復習をする。</p> <p>(3)p42-p43 の予習を行う（ノートまとめ）</p>	イ②	<p>A：場面や心情が十分伝わるように暗唱ができる。</p> <p>B：対話を正しく暗唱できる。</p> <p>C（支援）：模範となる音読を示し、くり返し練習を支援する。</p>	スキットテスト
5	<p>(1)新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>(2)ペアで Definition を行う。</p> <p>(3)p42 の英語落語についての導入を聞く。</p> <p>(4)「読取の観点」を手がかりにして本文（p42）を黙読し、質問に答える。</p> <p>(5)本文の音読を行う。</p> <p>(6)True or False Questions に答える。</p>	<p>イ①</p> <p>ウ①</p>	<p>A：表現集を見ないで3文以上で説明することができる。</p> <p>B：表現集や教科書を見て3文程度で説明することができる。</p> <p>C（支援）：生徒の伝えたいことを日本語で確認し、有用な文型を示す。</p> <p>A：本文を読んで、その要点を読み取ることができる（5～6問正解）。</p> <p>B：本文を読んで、その要点をほぼ読み取ることができる（3～4問正解）。</p> <p>C（支援）：質問の答えが含まれている文を示し、精読するようながす。</p>	<p>評価シート（生徒自己評価）</p> <p>ワークシート</p>
6	<p>(1)新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>(2)ペアで Definition を行う。</p> <p>(3)本文（p42）の音読を行う。</p> <p>(4)Questions and Answers に答える。</p> <p>(5)p43 の英語落語についての導入を聞く。</p> <p>(6)「読取の観点」を手がかりにして本文（p43）を黙読し、質問に答える。</p> <p>(7)本文の音読を行う。</p> <p>(8)True or False Questions に答える。</p>	<p>イ①</p> <p>ウ①</p>	<p>A：表現集を見ないで3文以上で説明することができる。</p> <p>B：表現集や教科書を見て3文程度で説明することができる。</p> <p>C（支援）：生徒の伝えたいことを日本語で確認し、有用な文型を示す。</p> <p>A：本文を読んで、その要点を読み取ることができる（5～6問正解）。</p> <p>B：本文を読んで、その要点をほぼ読み取ることができる（3～4問正解）。</p> <p>C（支援）：質問の答えが含まれている文を示し、精読するようながす。</p>	<p>評価シート（生徒自己評価）</p> <p>ワークシート</p>

7	(1)新出語句の発音と意味を確認する。 (2)本文(p43)の音読を行う。 (3)Questions and Answersに答える。 (4)ALTの抱く日本の生活習慣や文化についての疑問を知る。 (5)グループでどの疑問について説明するか決め、図書館の資料を参考にしながら説明文を書く。	イ③	A:日本の生活習慣についての説明を、文のつながりや構成を考えて書くことができる。 B:日本の生活習慣についての説明を書くことができる。 C(支援):まず日本語で構成を考えさせたり、例文や表現集を示すなどして支援する。	ワークシート
8 9	(1)ALTの知らない日本の生活習慣や文化についてペアで説明文を書く。 (2)グループで絵やジェスチャーなど、さまざまな工夫をして説明する練習をする。	イ③	A:日本の生活習慣についての説明を、文のつながりや構成を考えて書くことができる。 B:日本の生活習慣についての説明を書くことができる。 C(支援):まず日本語で構成を考えさせたり、例文や表現集を示すなどして支援する。	ワークシート
10 (本時)	(1)新出語句の発音と意味を確認する。 (2)日本の生活習慣や文化について、特に合衆国と異なる点をALTに説明する。	ア①  イ①	A:ALTから質問されたことに対し、何とかして答えようとしている。 C(支援):質問を簡単な英語や日本語で知らせ、回答しやすくする。 A:日本の文化や生活習慣について正確に説明したり質問に対して応えることができる。 B:日本の文化や生活習慣についてほぼ正確に説明したり質問に対して応えることができる。 C(支援):正しい情報と絵や図で示したり、知っている簡単な語句を用いて表現する方法を知らせ、グループで助け合って説明するよう促す。	観察  観察

## 6 本時の学習

### (1) 目標

- 間違いを恐れず、日本の生活習慣や文化について積極的に説明する。(話すこと) [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]
- 合衆国と異なる日本の生活習慣や文化について、さまざまな工夫をしながら英語を用いて正確に伝える。(話すこと) [表現の能力]

(2) 展開

学習活動	教師の支援		評価の観点 ・規準・方法
	J T E	A L T	
○ Song ・曲を聴きながら、歌詞カードの空欄にあてはまる語を書き取り、聞き取った語を発表する。		・あいさつの後、聞き取れた歌詞について尋ねる。	
○ 90-second quiz ・ペアで Unit4 の語句（日本語）をリストを見ながら英語を読み上げる。	・生徒の活動状況を把握し、支援が必要なペアを支援する。	・生徒の活動状況を把握し、支援が必要なペアを支援する。	
○ Japanese culture and custom ・アメリカと異なる日本の生活習慣や文化について、A L T の先生に説明する。 ・他のグループの説明を聞いている間は、何についてどのように説明しているのかメモを取り、評価する。	・言い方がわからない時は工夫をして伝えてもよいことを知らせる（ジェスチャーを使う、知っている簡単な語で言い換える、知っている語を組み合わせで何とか意味を伝える、図を書いて伝えるなど）	・生徒の説明を聞いてさらに疑問が生じた場合や、説明が不明瞭な場合に質問する。	ア①（観察） イ①（観察）
・自己評価を行う。	・説明を振り返り、良い点と改善点を明らかにするよう促す。		

(3) 本時の具体的な評価

ア① 間違いを恐れず、日本の生活習慣や文化について積極的に説明している。(話すこと) [言語活動への取組]

	予想される生徒の具体的な状況
十分満足できると判断される生徒の具体例	A L T から質問されたことに対し、何とかして答えようとしている。
努力を要すると判断される生徒への支援	A L T が質問している内容を簡単な英語や日本語で知らせ、回答しやすくする。

イ① 話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる。(話すこと) [正確な発話]

	予想される生徒の具体的な状況
十分満足できると判断される生徒の具体例	日本の文化や生活習慣について正確に説明したり質問に対して応えることができる。
おおむね満足できると判断される生徒の具体例	日本の文化や生活習慣についてほぼ正確に説明したり質問に対して応えることができる。
努力を要すると判断される生徒への支援	日本の文化や生活習慣について正確に説明することのできない生徒には、正しい情報とコミュニケーションのテクニックを再度知らせ、知っている簡単な語句での言い換えや、ジェスチャーや図を用いて説明するよう支援する。